| 科目ナンバリング | U-LAS24 20002 SO48 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | ロシア語IIＢ R252<br>Intermediate Russian B | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 人間・環境学研究科 准教授　堀口　大樹 | | |
| 群 | 外国語科目群 | 分野(分類) | | | 使用言語 | 日本語 | |
| 旧群 | C群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 演習（外国語）（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2024・後期 | 曜時限 | 金4 | 配当学年 | ２回生以上 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

ロシア語の初級・中級文法を整理するとともに、辞書を使ってロシア語の平易なテキストを読む。

**[到達目標]**

これまでに学んだロシア語の基礎をより強固なものにし、ロシア語のテキストを辞書を使って読めるような、自立したロシア語学習者になる。
またロシア語の基礎を学ぶことで、ロシアの文化や社会に関する基本的な知識を持ち、自分なりのロシア観や、ロシアを考慮に入れた世界情勢を把握する視点を得る。

**[授業計画と内容]**

中級文法を確認しながら、ロシアの社会や文化、歴史に関するテキストや新聞の記事の読解を行う。

授業は14回、期末試験、フィードバック1回とする。

1. 文法総復習
2. 文法総復習
3. 分詞①
4. 分詞②
5. ロシアの社会①
6. ロシアの社会②
7. ロシアの社会③
8. ロシアの文化①
9. ロシアの文化①
10. ロシアの歴史①
11. ロシアの歴史②
12. 受講者の関心に応じたテーマ
13. 受講者の関心に応じたテーマ
14. 受講者の関心に応じたテーマ

≪期末試験≫

15. フィードバック

テキストを読む際には、事前に予習が必要である。各自辞書を用いて、単語や表現の意味を調べておく。

発音は極めて重要であるので、教科書の例文などの音読を積極的に行う。
ロシアの文化や社会に触れるため、視聴覚資料も使う。

ロシア語IIＢ R252(2)へ続く↓↓↓

**ロシア語IIＢ R252(2)**

**[履修要件]**

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

**[成績評価の方法・観点]**

平常点（50%）：授業を受ける姿勢、課題への取り組み、小テスト
期末試験（50%）

**[教科書]**

Г.Г.Малышев, Н.Г.Малышева『О России и русских』（Златоуст, 2015）
ロシア語のテキストは授業時にコピー配布する。

**[参考書等]**

（参考書）
テキストの予習の必要があるため、露和辞典が必要である。 いくつか例を挙げる。 卓上版：『研究社露和辞典』（研究社）・『博友社ロシア語辞典』（博友社）
ポケット版：『コンサイス露和辞典』（三省堂）・『ロシア語ミニ辞典』（白水社）
電子版：『カシオ電子辞書追加コンテンツ（コンサイス辞典）』（CASIO）
オンライン・アプリ辞書：『ロゴヴィスタ電子辞典（研究社露和・和露辞典』（ロゴヴィスタ）、『物書堂アプリ（プログレッシブロシア語辞典）』（物書堂）

**[授業外学修（予習・復習）等]**

予習のほか、復習にも力を入れ、授業で習った文法事項や単語・表現を自分のものにするよう努めること。
語学の上達は、授業プラス授業外で日々どれだけその言語に触れているかにかかっている。授業以外にも、インターネットなどでロシア語の音楽やラジオを聴いたり、動画を見たり、ロシア語で書かれたサイトを覗いてみたり（もちろん全部わからなくても大丈夫）、ロシア人留学生と交流するなど、積極的にロシア語に触れてもらう。
またロシアやロシア語圏の文化や社会に対して、常にアンテナを張っていてほしい。

**[その他（オフィスアワー等）]**